

政策・提言力で議会をリード

日本共産党

市民のいのち  
くらし守ります

コロナ対策を強め

いわむろ年治  
市議会議員

プロフィール ■ 岩室としはる  
1990年初当選以来、市議8期目。副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会改革協議会会長など歴任。現在は教育民生常任委員会委員長、基地対策特別委員会、議会運営委員会など所属。住所＝逗子市逗子5丁目

22年2月・3月、日本共産党の政策を紹介します。



日本共産党逗子市委員会  
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321

3月27日  
逗子政治戦

市民とともに市政を前に  
市議会で働かせてください

市議会議員 **いわむろ年治**



初当選の当時は、池子米軍住宅問題で、市民が二分する状況で、緑派13人目の議員として送り出されました。私のパンフレットには「穏やかな市民生活の逗子をめざして」と書きました。その後、追加建設問題も浮上。池子問題は私のライフワークとなり、毎議会、質問に立ち続け、歴代市長6人と論戦。社会状況も大きく変わり、市は厳しい財政状況の中で、財政危機となりました。

この4年間に、桐ヶ谷市政に変わり、財政再建に取り組み、財政調整基金は約23億7千万円（令和3年度末）になりましたが、現在も厳しい状況は続いています。議員生活の中で、

対立ではなく、お互いを理解し、リスベクト（尊敬することの大切さ）を感じ、今は市民が落ち着きと穏やかさを取り戻したことを実感しています。

いまこそ市民、市政、議会が力をあわせ

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大、温暖化による豪雨災害、市内の相次ぐ緑地崩落は尊い命を奪いしました。市は危険個所への防護対策、民有地の対策への助成に取り組んでいます。

私は今だからこそ、市民・行政・議会が力をあわせて、乗り越えていくことが必要だと思っています。みなさんと一緒にこれからも逗子市政を前にすすめていきます。

原点を貫き  
8期32年

● 反核・平和の思いから20歳で日本共産党に入党し42年。米軍住宅問題で運動に参加。原水爆禁止世界大会にも参加し、その思いで入党しました。

● 池子の森自然公園（共同使用40ha）の維持管理費と緑地崩落の防災対策など国の責任で負担すべき主張。財政負担の軽減を求めてきました。

● 毎月第2日曜日、池子全面返還を要求する「池子定例デモ」を、ねばり強く続けて48年、580回を数えました。

● 市議会の定例会ごとに党逗子市議団発行の「逗子民報」を発行。みなさんに市政報告を欠かしません。